

登録コード	A3592408	開講年度	2026					
授業科目	プレゼンテーション演習					担当教員	真壁 秀文	
英文授業名	Presentation							
単位数	1	講義期間	前期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	4年前期	
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】		
	2 0 2 2 Aカリ，2 0 2 1 Aカリ，2 0 2 0 Aカリ，2 0 1 9 Aカリ							
	【2022年度以前加わむ対象】専門的な知識や研究能力を修得している					専攻研究の内容に関してプレゼンテーションの技術を習得し、活用することができる。		
	【2022年度以前加わむ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している					最新の学術論文を理解し、その内容をまとめプレゼンテーションを行う技術を身につける。		
	2 0 2 6 A3 編（24A），2 0 2 5 A3 編（23A），2 0 2 4 Aカリ，2 0 2 3 Aカリ							
	【2024年度以前加わむ対象】専門的な知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。					専攻研究の内容に関してプレゼンテーションの技術を習得し、活用することができる。		
	【2024年度以前加わむ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。					最新の学術論文を理解し、その内容をまとめプレゼンテーションを行う技術を身につける。		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	本授業では、自分の研究計画、その研究に関連する海外の論文紹介、調査や実験から得たデータの報告、まとめについて、MS社のPowerPointを使って、各研究分野のセミナーで発表する。							
(5)授業計画	自分の担当回で、自分の研究の進捗状況をスライド等を用いて発表する。なお，最後の講義時に授業アンケートを行う。							
(6)自主学習の指針	自主学習では参考書の使用を薦める。							
(7)成績評価の基準	プレゼンテーションなどの取り組みを総合的に評価する。 なお成績評価の基準は下記の通りである。 評価基準： 評語 略記号 点数 秀 S 90-100 優 A 80-89 良 B 70-79 可 C 60-69 不可 D 59以下							
(8)事前事後学習の内容	担当回の前後だけでは無く，常に専攻研究の内容をパワーポイントにまとめておくこと。							
(9)テストやレポートの予定	なし							
(10)成績評価の方法	発表内容と発表時における質疑応答							
(11)質問、相談への対応および連絡先	随時受け付けます。							
(12)履修上の注意	全て出席すること。							
【教科書】	なし							
【参考書】	これから学会発表する若者のために -ポスターと口頭のプレゼン技術- （酒井聡樹著、共立出版） 学生・研究者のための伝わる！学会ポスターのデザイン術 （宮野公樹著、化学同人）							